

2021（令和3）年度予算について

学 校 法 人 桃 山 学 院
理 事 長 出 田 善 蔵

2021（令和3）年度学校法人桃山学院の予算は、予算会議の議を経て、2021年3月23日（火）開催の評議員会後の理事会で承認され成立いたしましたので、ここに予算の概要と予算書類の公開を以下のとおり行います。

■ 資金収支予算概要について

資金収支予算書は、予算編成を通して当該年度の諸活動に対応するすべての資金収入と資金支出の内容を明らかにするとともに、支払資金の顛末も明らかにする書類です。

2020年度補正後予算額との比較で示せば次表のとおりです。

資金収支予算比較総括表

（単位：百万円）

| 項 目 | 2021年度予算額 | 2020年度補正後予算額 | 増 減 |
|-----------|-----------|--------------|---------|
| 前年度繰越支払資金 | 7,598 | 8,682 | △ 1,083 |
| 資 金 収 入 | 12,200 | 12,939 | △ 739 |
| 資 金 支 出 | 11,455 | 14,023 | △ 2,568 |
| 翌年度繰越支払資金 | 8,344 | 7,598 | 745 |

<注> 端数処理（百万円未満を切り捨て）の関係で増減額が合致しないことがあります。

以上のように資金収入につきましては、合計で7億3,900万円減の122億円を計上しました。

これは、2020年度8月29日に竣工した新棟（聖テモテ館）の支払資金として、前年度補正予算において、将来構想引当特定資産6億3,040万円を取崩したことや2021年度の退職予定者数減により退職金財団交付金が8,848万円減少したことが主な要因としてあげられます。

一方資金支出では、合計で25億6,800万円減の114億5,500万円を計上しました。これは、前年度補正予算において、既述の新棟建設に係り、情報機器および既存建物の遡及工事も含め23億754万円の関連費用を計上したこと、2020年度にコロナ禍における学生支援として5億9,266万円の臨時対策費用を計上したことなどが主な要因としてあげられます。

このように前年度補正予算と比較した場合、前年度に実施した新棟建設やコロナ禍における学生支援に係る臨時的な要因で収入・支出とも大幅な減少となりました。

その他恒常的な要因としては、2021年度から桃山学院大学（200名）および桃山学院教育大学（95名）の入学定員増が認められたことを主な要因とする3億8,060万円の学生生徒等納付金収入増などがあり、結果として、資金収入が資金支出を上回り、翌年度繰越支払資金は7億4,500万円増の83億4,400万円を見込んでいます。

■ 事業活動収支予算概要について

事業活動収支予算書は、予算編成を通して当該年度の事業活動収入と事業活動支出の内容を明らかにし、当該年度に基本金に組み入れる額を控除した諸活動に対応する全ての事業活動収入と事業活動支出の均衡状態（経営状態）を表す書類です。

2020年度補正後予算額との比較で示せば次表のとおりです。

事業活動収支予算比較総括表

(単位：百万円)

| 項 目 | 2021年度予算額 | 2020年度補正後予算額 | 増 減 |
|---------------------|-----------|--------------|---------|
| 事業活動収入 ① | 11,806 | 11,558 | 248 |
| 事業活動支出 ② | 12,222 | 12,487 | △ 264 |
| 基本金組入前当年度収支差額③(①-②) | △ 416 | △ 929 | 513 |
| 基本金組入額 ④ | △ 171 | △ 1,801 | 1,630 |
| 当年度収支差額 ⑤ (③ + ④) | △ 587 | △ 2,731 | 2,143 |
| 前年度繰越収支差額 ⑥ | △ 5,364 | △ 2,633 | △ 2,731 |
| 基本金取崩額 ⑦ | 0 | 0 | 0 |
| 翌年度繰越収支差額⑧(⑤+⑥+⑦) | △ 5,951 | △ 5,364 | △ 587 |

<注> 端数処理（百万円未満を切り捨て）の関係で増減額が合致しないことがあります。

以上のように事業活動収入については、2億4,800万円増の118億600万円を計上しました。これは資金収支と同様、2021年度から桃山学院大学（200名）および桃山学院教育大学（95名）の入学定員増が認められたことを主な要因とする3億8,060万円の学生生徒等納付金の増加が主な要因としてあげられます。

一方、事業活動支出では、教育研究・管理経費において、昨年度に計上したコロナ禍における臨時的な学生支援5億4,509万円の減少を主な要因として、2億6,400万円の減となり、合計で122億2,200万円の計上となりました。

その結果、事業活動支出が事業活動収入を上回り、基本金組入前当年度収支差額では、4億1,600万円の支出超過となりました。支出超過の要因としては、ビジネスデザイン学部が完成年度を迎えていないこと、新棟の減価償却費など定常的な経費増に加え、コロナ禍における『新しい教育・研究環境』に対応するための経費が増加したことがあげられます。

なお、基本金組入額は1億7,100万円を計上しました。その主な内容につきましては、『中長期キャンパス保全改修』による施設や図書購入による組入となります。

これらの要因から2021年度予算では、当年度収支差額は5億8,700万円の支出超過となり、翌年度繰越収支差額は59億5,100万円の支出超過となる見込みです。

事業活動収入の部合計 118 億 658 万円

事業活動支出の部合計 122 億 2,267 万円

